

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年2月24日

事業所名 春日部市立ふじ学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		
	②	職員の配置数は適切である	100%	0%		国の基準を遵守している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	90%	10%	バリアフリーではなく段差はあるが、療育室などではできる限り構造化し、わかりやすい環境設定に努めている。また、特性に合わせて写真・絵カード等を使用している。	ヒヤリハットを生かし、その都度改善している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	朝、降園後に毎日消毒液を使って清掃している。子どもが集中できる環境を整えている。	全体的に建物が古い、その都度補修している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	定期的ケース会議や職員会議を実施し、業務や行事など、全体で振り返りや改善を行っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	市公式ホームページで公開している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		第三者による外部評価の導入に向け、今後指定管理者と検討を行っていく。 (令和3年度から指定管理者制度導入)
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	今年度は状況により研修の参加自体が難しかったが、動画配信の研修を活用し、参加した。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	M-CHAT実施。 入園前発達質問表、プロフィール表等を参考にしている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	M-CHATを使用している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	支援目標の他、具体的な支援内容も記載するよう努めている。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		

関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	週案の内容検討、その日の活動を全員で確認している。 年間の活動予定なども話し合いながら立案している。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	職員間で案を出し合い、日々の療育、行事の内容等検討している。 児の姿や成長に合った活動となるよう内容を考慮している。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	100%	0%	コーナー遊びなどで、集団活動の経験もできるようにしている。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝にミーティングを実施し、一日の流れや役割分担について確認している。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終業前にミーティングを実施し、児の様子などを共有し、今後の支援につながる対応など検討している。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%			
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要を判断している	100%	0%			
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	必要に応じて参画している。		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当なし。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当なし。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	保育所等訪問での連携や、申し送り書の作成を行っている。		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	申し送り書の作成、引き継ぎ等を行っている。		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	作業療法士によるフォローアップ研修の機会があり、助言を受けた。		
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		例年、第6保育所交流を行っていたが、今年度はコロナ感染拡大防止のため、実施が出来なかった。	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		今年度は、コロナ感染拡大防止のため、会議等の開催、参加は出来なかった。	

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳や口頭にて、様子を伝え、共通理解を図れるよう努めている。	例年通りの保護者参加の行事開催が難しかったため、写真にて、様子を伝えられるよう努めた。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	0%	100%		プログラムの実施は行えていないが、日々の業務において、家族支援を念頭にいた保護者対応に努めている。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	心理相談、支援計画面談等行っている。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	20%	80%		コロナ感染拡大防止のため、例年行っていた月1回の保護者会は実施出来なかった。親子遊び、新施設説明会で保護者参加の機会があった。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	相談や申入れに対して、適切に対応している。	
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月、園だよりを発行。	
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	④①	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		コロナ感染のリスクを避けるため、地域に開かれた事業は行えなかった。
	非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	緊急時対応マニュアルの作成及び配布。避難訓練計画書を作成し、訓練を行っている。
④②		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	月2回避難訓練実施。 （地震、火災、洪水、不審者）	
④③		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	100%	0%	予防接種・感染記録表記入。服薬、てんかん等配慮が必要な児を全体で確認している。	
④④		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	対応マニュアルに基づいて、指示書の確認、成分・コンタミの確認等、対応を行っている。	
④⑤		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例が発生した時には、速やかに報告、作成にあたり、職員間で共有、改善に努めている。	
④⑥		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	80%	20%		今年度は研修の機会がなかったが、職場全体で、適切な対応が出来るよう、虐待防止に努めている。

	④	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	安定や安全面の配慮のため、バス内や着席時に保護者の了解を得て肩ベルトを使用している。支援計画にも記載する。	
--	---	--	------	----	---	--

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。